

2025年度くまもと文学・歴史館企画展

運起爆する 運動加体

没後30年 谷川雁のものごと

アレモコレモ、カレノ、シゴト。

2025年 8月1日(金) ≪ ≪ ≪ 9月15日(月・祝)

●休館日／火曜日、8月29日(金) ●開館時間／午前9時30分～午後5時15分

【主催】くまもと文学・歴史館、熊本県立図書館 【協力】福岡市文学館、谷川雁研究会(代表：松本輝夫、株式会社ラポ教育センター)、ものがたり文化の会

入館
無料



文学と歴史でたどる くまもとの記憶／

くまもと文学・歴史館
Kumamoto Museum of Literature and History



ものがたり文化の会提供

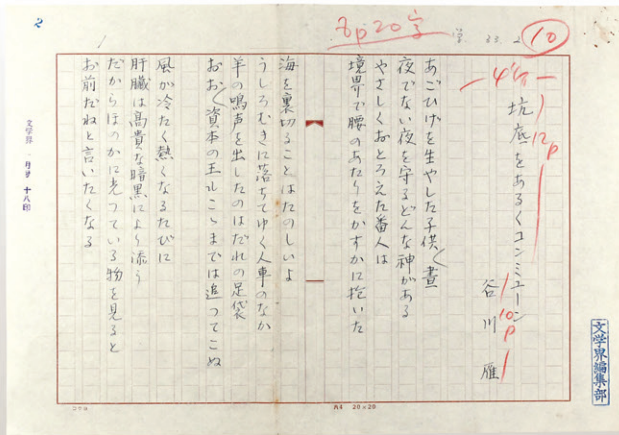
谷川雁が、没後30年の節目を迎えました。戦後復興期の日本において、その思想や高踏的な詩語によって、人びとのエネルギーを起爆し奮い立たせた水俣出身の詩人思想家です。筑豊の中間町（現中間市）に移住し、文化運動、労働闘争を指導。上野英信、森崎和江らと創刊した雑誌『サークル村』には、石牟礼道子も参加しました。闘争を見届けたのち上京した雁は、当時創業したラボ教育センターの言語教育運動に最高幹部として関与し、ことばと物語を通して子どもたちを起爆しはじめます。退社後は「十代の会」「ものがたり文化の会」を設立、宮沢賢治作品をもとに独自の文化活動を継続していきました。

活躍の場所を変えながら、しかし、どこにいても、ことばによって人々を起爆し続けた谷川雁。〈個〉のみよりも〈集団〉での創造と活動にこだわったその思想は、人間にとって不可欠なものを考えさせ、今こそ読みなおすべき示唆に満ちているのではないのでしょうか。

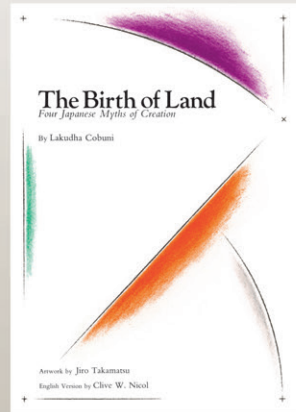
谷川雁とは何者だったのでしょうか。没後30年のこの機会に、雁から発せられたメッセージの魅力と可能性について、あらためて見つめ直します。



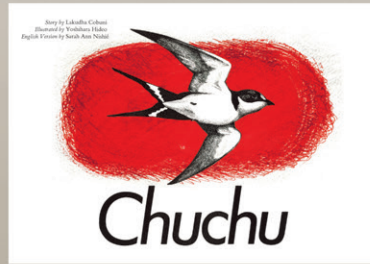
自筆原稿「原点が存在する」(部分)
(福岡市総合図書館蔵(福岡市文学館資料))



自筆原稿「坑底をあるくコミュニケーション」(くまもと文学・歴史館蔵)



『The Birth of Land(国生み)』(ラボ教育センター刊)



『Chuchu(こつばめ チュチュ)』(ラボ教育センター刊)



『サークル村』創刊号
(福岡市総合図書館蔵(福岡市文学館資料))

記念ダブル講演会「今こそ改めて谷川雁の言霊と生き方を」



まつもとてるお
登壇者1 松本輝夫

石川県生まれ。東京大学在学中に筑豊・中間に赴き、谷川雁と出会ったことが機縁でラボ教育センター(元テック)に入社。労組活動では雁と対立もした。雁の退社後、本部長・会長等を歴任。退職後に谷川雁研究会を起こし、代表に。『谷川雁 永久工作者の言霊』(平凡社新書)など、著書多数。



にひらたくま
登壇者2 仁衛琢磨

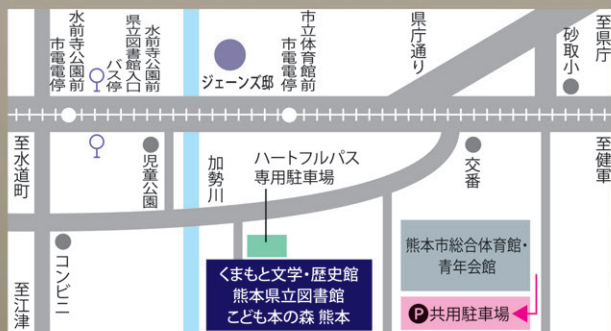
茨城県生まれ。小学1年からラボに入る。雁が制作に関わった教材に親しみ、人生の難局を、ことばや物語の力で乗り越えたと語る。著書に「ことばが子どもの未来をつくる—谷川雁の教育活動から萌え出でしもの」がある。

- 日時:8月24日(日)午後1時30分から午後4時
- 会場:熊本県立図書館3階 大研修室
- 定員:100名(申し込み先着順)
- 参加無料
- お申し込み先:096-384-5000(代表)
- 申込受付時間:午前9時30分~午後5時

くまもと文学・歴史館公式YouTubeチャンネルで配信
2025年9月13日~2026年3月31日(予定)

ギャラリートーク

- 8月9日(土)、9月14日(日) いずれも午後1時30分~午後2時
- 申込不要、参加無料
- くまもと文学・歴史館ロビーにお集まりください



- JR熊本駅から路面電車(市電)で約40分(JR新水前寺駅から路面電車(市電)で約10分)「市立体育館前」下車徒歩約5分
- バス「水前寺公園前・県立図書館入口」下車徒歩約5分
- 駐車場:熊本市総合体育館・青年会館駐車場(共用)
- ハートフルバスをお持ちの方は、図書館北側の専用駐車場をご利用ください。
- 駐車場に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

次回企画展のテーマは、
細川家の正室 顕光院益姫 です。お楽しみに!
2025年10月3日(金)~11月16日(日)



熊本中央区出水2-5-1
TEL 096-384-5000(代表)
FAX 096-385-4214
<https://www2.library.pref.kumamoto.jp/bunreki>

くまもと文学・歴史館 検索